



Minamiku Art Next
Collection
2026

FaN
Fukuoka Art Next

市政記者各位

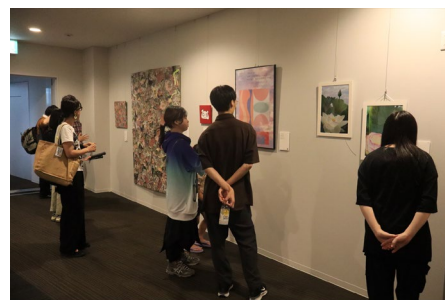
令和8年10月1日
南区企画振興課

Minamiku Art Next Collection 2026

「2日間だけの芸術祭」いよいよ今週末開催。出展作品をご紹介します！

南区では、これからの時代を担う学生・若手アーティストのアート活動を支援する「**Minamiku Art Next**」を展開しています。10月3日・4日に南市民センター／塩原音楽・演劇練習場で開催する、市内の芸術学部・学科の学生や若手アーティストたちが一堂に会し作品を展示するイベント「**Minamiku Art Next Collection 2026**」の出展作品をご紹介します。

今年は、絵画・立体作品・映像・デジタルアート・インスタレーション・写真・ファッション・演劇と、昨年以上に多彩なジャンルの作品80点以上が揃いました。ゲストアーティスト(オーギカナエさん・北村あさみさん)の作品とともに、お楽しみください。なお、来場された方に好きな作品を3つまで選んで投票いただき、一番投票数の多かった作品を「南区市民賞(オーディエンス賞)」として表彰します。



会場の様子(昨年)

開催当日に参加できるイベントとして、昨年も好評だった、香蘭女子短期大学による大阪万博で使用されたテント素材と子ども用毛糸ミシンを使って**ファッション小物を作る無料のワークショップ**も開催されます。また、福岡女学院高等学校の生徒さんによるアートプロジェクト「**スマイル 100プロジェクト～大切な人の笑顔を描く～**」の公開制作もあります。



ファッション小物を作るワークショップ(昨年)

南市民センターが美術館に変わる、特別な2日間。ぜひ、会場までお越しください！



Minamiku Art Next
Collection
2026

2026.10.3-10.4
sat. sun.

@福岡市立南市民センター／福岡市塩原音楽・演劇練習場

「知らないこと」は、
おもしろい。
好奇心が動き出す
2日間の芸術祭

観覧無料

FaN
Fukuoka Art Next

本イベントの広報・告知及び取材について、ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。当日の取材にお越しいただける場合には、10月2日までに下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】 南区役所総務部企画振興課 (担当: 吉村、松永)

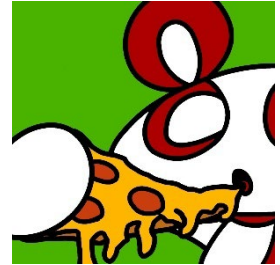
TEL: 559-5015 (内線144-220) E-mail: minami-koho@city.fukuoka.lg.jp

■Minamiku Art Next Collection 2026 展示作品一覧

「作品名」／作者(所属)

●絵画

- 「RUDY'S CHEESE」／Shuns
- 「Remember me」／まちどりこのみ
- 「留学スケッチ旅日記」／山口 佳詩乃(九州大学)
- 「孤高の美」／檜原 準平(九州産業大学)
- 「揺蕩う」／川口 真利依(九州産業大学)
- 「ありのまま」／金光 雛詩(九州産業大学)
- 「視線」「山羊のある静物」／栗田 大輝(九州産業大学)
- 「bear」／大橋 航(九州産業大学)
- 「沈黙の綻び」／松尾 百合愛(九州産業大学)
- 「溢れる輝き」／入江 奈津希(九州産業大学)
- 「UNIONS BABEL」「辿り着けない」「護衛」／海津 知子(九州産業大学)
- 「野田さんと草野さんと僕でビールを飲んでいる」／Toru IZUMI(工房まる)
- 「サグラダファミリア」／Keisuke NAGATA(工房まる)
- 「トラ」／Kenji NAKAMUTA(工房まる)
- 「不思議の国のアリス」／Naoyuki OMINE(工房まる)
- 「スーツのある家」／Hiroki MATSUNAGA(工房まる)
- 「みんなと演奏すると楽しいね～♪」／Saori YAMASHITA(工房まる)
- 「二匹仲良しで、景色を、眺めている」／Keiko YAMADA(工房まる)
- 「カバ」／Hiroshi HORI(工房まる)
- 「ブエノスアイレスの春」／Takashi YAMANAKA(工房まる)
- 「カラルフもみじ」「木とヘラ」／Takahiro OKUMA(工房まる)
- 「空の青さを知る鳥よ」／Narisa YASUOKA(工房まる)
- 「PASSION」／Junko MIYATANI(工房まる)
- 「あの場所」／田中 咲映(福岡デザイン専門学校)
- 「花鳥風月」／梶 多真希(福岡県立柏陵高等学校)
- 「百折不撓」／鶴田 真章(福岡県立柏陵高等学校)

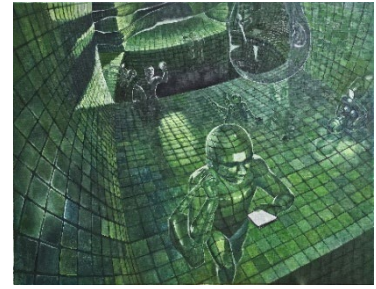


「RUDY'S CHEESE」Shuns



「ありのまま」金光 雛詩

- 「鏡狐水月」／大上 想人(福岡県立柏陵高等学校)
- 「愛しかった頃」／小川 つむぎ(福岡女学院高等学校)
- 「2月7日 16 時 56 分」／坂本 和花(福岡女学院高等学校)
- 「ティータイム」／古屋 葵唯(福岡女学院高等学校)
- 「帰り道」／山口 常(福岡女学院高等学校)
- 「さかな」／吉岡 舞(福岡女学院高等学校)
- 「母と福」／岡田 采也(福岡女学院高等学校)



「辿り着けない」 海津知子

●立体作品

- 「ネコ踊る」／長 駿之介(九州大学大学院)
- 「366 日」「THE WORLD WITHIN – Hallstatt」「THE WORLD WITHIN – The Time We Shared」
「THE WORLD WITHIN – London」「THE WORLD WITHIN – Zürich」
／平田 奈桜(九州産業大学大学院)

- 「つなげる、つながる」／上田 朱夏(九州大学)
- 「追憶の椅子」／李聖雅(九州大学)
- 「iroiro」「花瓶」「船」「蝶」「馬」／TSUuTON
- 「コレクション」／野見山 花埜(福岡女学院高等学校)



「366 日」 平田奈桜

●デジタルアート

- 「一月七日、うそをかえる」／Lys(九州大学大学院)
- 「DIVE a CITY」／内藤御厄介
- 「MY MIND」／アオキカンエイ(九州大学)

●インスタレーション

- 「The Distance between Family」／小野塚ちとせ(九州大学)
- 「第 23 回芸工祭」／第 23 回芸工祭(九州大学)

●映像作品

- 「日々日々」「Me」「36'20」／工藤 聡真(九州大学大学院)
- 「ダリア」／福岡女学院大学人文学部言語芸術学科
- 「インフィニティミラーと映像の融合による拡張映像表現」
／井 海斗(九州大学)
- 「にんげんになれなかった」／maiton4423
- 「残照 / afterlight」／miluha(九州大学)



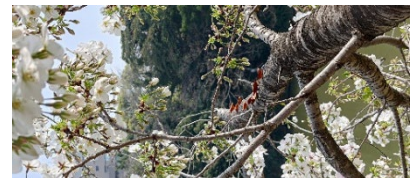
「ダリア」 福岡女学院大学人文学部言語芸術学科

●演劇

- 「私を忘るる花であれ。」／劇団路地裏ドアストッパー(福岡女学院大学)

●写真

- 「留学スケッチ旅日記」／山口 佳詩乃(九州大学)
- 「桜道」／アイダ(日本国際語学アカデミー)



「桜道」アイダ

●ファッション

- 「CBA project 26 Next Stage"EYERIS"」／CBAProject 26(九州大学)
- 「Cutie in the Eyes」／西嶋玲子

●九州大学芸工祭の作品展示

九州大学大橋キャンパスで10/31～11/1に開催される芸工祭は舞台美術・音響・映像・照明・衣装などすべてが芸工生の手で作られた、芸工生の技術が凝縮された学園祭。芸工祭の様子がわかる過去の制作物を展示します。

第23回芸工祭のテーマ「jam」。jamには、甘くて、やわらかくて、誰かと分け合いたくなる「甘美な体験」という意味と、前にも後ろにも進めなくなる「困った状況」という、まったく正反対の側面が同居しています。

制作が行き詰まる夜も、ふとした瞬間に世界がひらける朝も、私たちの毎日はこの“甘さ”と“詰まり”のあいだを揺れ続けています。それは芸工生にとって避けられないものであり、同時に、創造を面白くしてくれるものでもあります。

うまくいかずに立ち止まることも、何かが混ざり合って新しい形が生まれることも、どちらもまぎれもなく「jam」です。そして芸工祭という空間は、その混沌をそのまま歓迎してくれる場所でもあります。

甘美な混ざり合いも、抜け出せない袋小路も。ぜんぶ抱えて楽しんでしまおう。

●ワークショップ/ファッション作品展示(香蘭女子短期大学ファッション総合学科学生)

香蘭女子短期大学ファッション総合学科の学生が子どもたちを対象に、カラフルなテント素材と子ども用毛糸ミシンを使ってオリジナルのファッション小物を作る体験型のワークショップを行います。

時間: 10月3日(土)/4日(日) 10:00~16:00

対象: 中学生以下

料金: 無料



●公開制作「スマイル100プロジェクト～大切な人の笑顔を描く～」 (福岡女学院高等学校美術部)

目を閉じて、自分の大切な人を思い浮かべます。

その人に会いに行き、笑顔の写真を撮らせてもらいます。

ひとり10人の笑顔を集めて100人の笑顔を一枚の絵に描いていきます。



Minamiku Art Next
Collection
2026

Floor Guide 1F



小練習室 1 西嶋玲子

小練習室 2 オーギカナエ

小練習室 3 長駿之介

小練習室 4 平田奈桜

1F ギャラリー 山口佳詩乃

大練習室 CBAproject 26

10.3^{sat} 全 4 回公演 (以下は、開場時間)
①10:45- ②12:05- ③13:50- ④15:10-

劇団路地裏ドアストッパー

10.4^{sun} 全 2 回公演
①11:00- ②14:00-

ロビー

香蘭女子短期大学 ファッション総合学科

Workshop
小物づくりワークショップ

参加無料・予約不要

西側広場

オーギカナエ

Workshop
お茶会ワークショップ
「スマイルの旅プロジェクト〜ハローハロー、ミナミク!〜」

南市民センター
西側広場

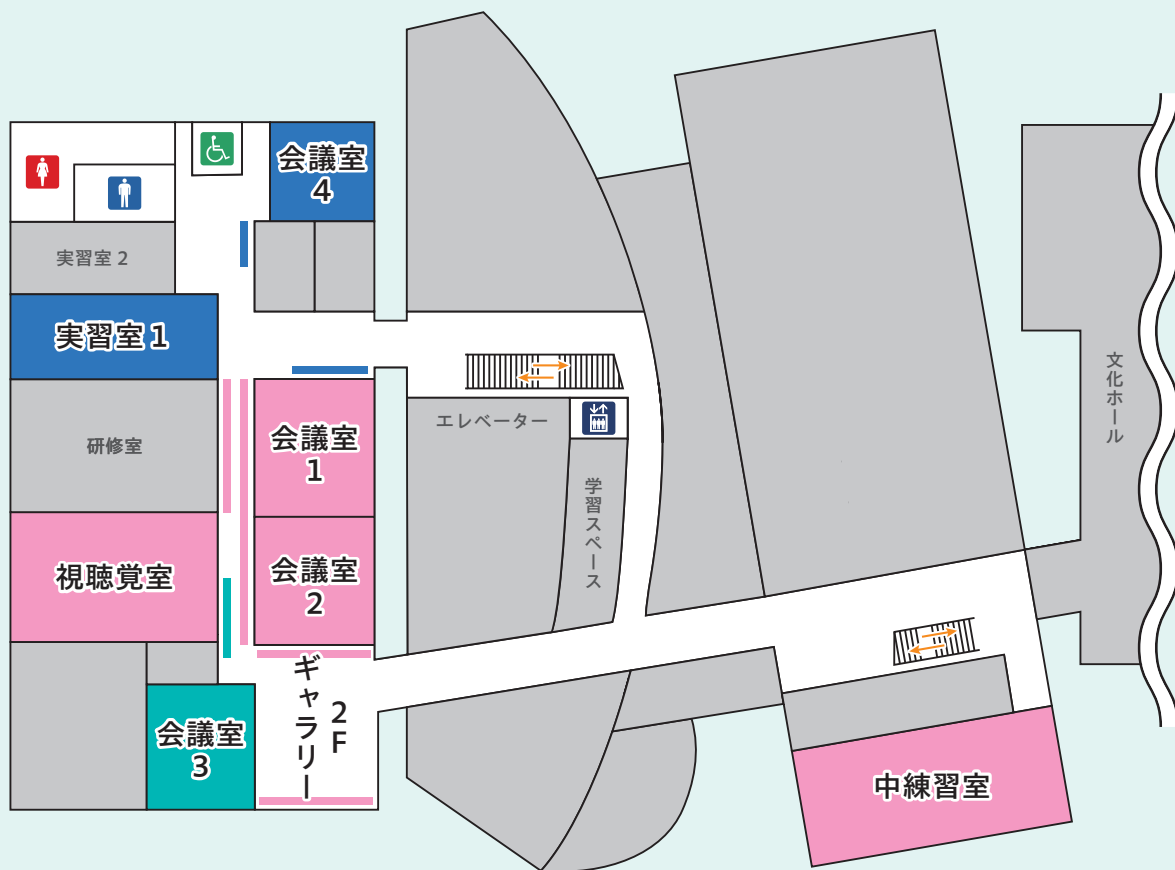


Guest Artist 01
オーギカナエ
スマイルの旅プロジェクト



Minamiku Art Next
Collection
2026

Floor Guide 2F



実習室 1

TSUuTON

工房まる

Toru IZUMI / Keisuke NAGATA / Kenji NAKAMUTA / Naoyuki OMINE

Hiroki MATSUNAGA / Saori YAMASHITA / Keiko YAMADA / Hiroshi HORI

Takashi YAMANAKA / Takahiro OKUMA / Narisa YASUOKA / Junko MIYATANI

視聴覚室

工藤聡真 / 福岡女学院大学人文学部言語芸術学科 / maiton4423 / miluha

会議室 4

福岡女学院高等学校

岡田采也 / 小川つむぎ / 坂本和花

野見山花埜 / 古屋葵唯 / 山口常 / 吉岡舞

会議室 1

第23回 芸工祭

会議室 2

工藤聡真 / 井海斗

2F ギャラリー

Shuns / Lys / まちどりこのみ

内藤御厄介 / アイダ / アオキカンエイ

檜原準平 / 川口真利依 / 金光雛詩

栗田大輝 / 大橋航 / 松尾百合愛

入江奈津希 / 海津知子 / 田中咲映

福岡県立柏陵高等学校

梶多真希 / 鶴田真章 / 大上想人

中練習室

小野塚ちとせ / 李聖雅 / 上田朱夏

会議室 3

北村あさみ

Workshop

スクラッチアートで
しおりを作ろう

事前予約者のみ

2026.10.3-10.4

福岡市立南市民センター
塩原音楽・演劇練習場



主催：南区役所総務部企画振興課

「知らないこと」は、 おもしろい。 好奇心が動き出す 2日間の芸術祭

FaN
Fukuoka Art Next

入場無料



Instagram



**Minamiku Art Next
Collection 2026**

Artists & Groups

出展アーティスト・グループ (50音順)

アイダ／アオキカンエイ／井海斗／李聖雅／入江奈津希
／上田朱夏／海津知子／大橋航／小野塚ちとせ／金光雛
詩／川口真利依／工藤聡真／栗田大輝／劇団路地裏ドア
ストッパー／香蘭女子短期大学ファッション総合学科／
CBAProject 26／Shuns／第23回芸工祭／田中咲映／
長駿之介／TSUuTON／内藤御厄介／橋原準平／生川塔
真／西嶋玲子／平田奈桜／福岡女学院大学人文学部言語
芸術学科／maiton4423／まちどりこのみ／松尾百合愛
／miluha／山口佳詩乃／Lys ※出展アーティストは変更になる場合があります

2026.10.3^{sat}-10.4^{sun}

10:00-16:00

会場

**福岡市立南市民センター
塩原音楽・演劇練習場**

福岡市南区塩原2丁目8-2
西鉄「大橋駅」より徒歩15分
西鉄バス「南市民センター前」

Guest Artists

ゲストアーティスト

オーギカナエ
北村あさみ

Special Exhibit

特別出展

福岡女学院高等学校／福岡県立柏陵高等学校

工房まる Toru IZUMI / Keisuke NAGATA / Kenji NAKAMUTA / Naoyuki OMINE
/ Hiroki MATSUNAGA / Saori YAMASHITA / Keiko YAMADA / Hiroshi
HORI / Takashi YAMANAKA / Takahiro OKUMA / Narisa YASUOKA /
Junko MIYATANI

主催

南区役所総務部企画振興課 (☎092-559-5017)

後援



ABURAYAMA FUKUOKA



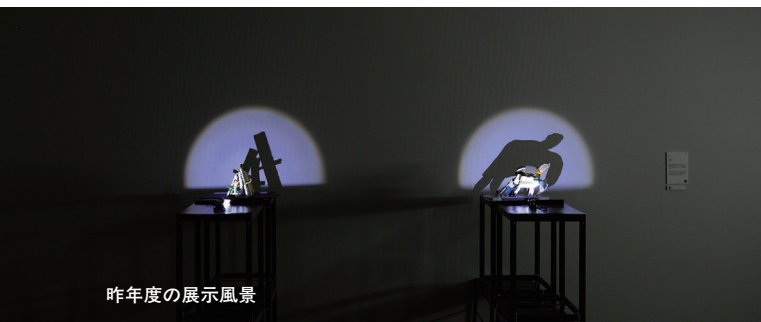


Minamiku Art Next Collection 2026

2026.10.3-10.4

会場

福岡市立南市民センター
塩原音楽・演劇練習場



昨年度の展示風景

肴／側・生（2025年度 南区市民賞受賞作品）

福岡市南区では、これからの時代を担う学生・若手アーティストのアート活動を支援する「Minamiku Art Next」を展開しています。「Minamiku Art Next Collection 2026」では、福岡市内の大学・短大・専門学校に在学する学生や若手アーティストたちの多彩な作品を展示します。また、2人のゲストアーティストによる展示、作品の世界観にひたる体験ワークショップ（有料・要事前申込）も実施します。

さらに昨年度も好評をいただいた香蘭女子短期大学による「小物づくりワークショップ（参加無料）」の企画も開催します。身近な場所でアートに触れられる機会を、ぜひお楽しみください。



写真提供…広島市現代美術館

オーギカナエ／スマイルの旅プロジェクト

ゲストアーティスト

1 オーギカナエ

1963年、唐津市生まれ。1984年武蔵野美術大学短期学部美術科油絵専攻卒業後「絵は空気を作るもの」という考えから空間をドローイングで覆う大型インスタレーションの作品など東京を中心にインド、シンガポールでも発表。1994年拠点を久留米市に移し、リサーチプロジェクト、ワークショップやパブリックアート、舞台美術など、よりインタラクティブな作品を発表する。2017年の国際芸術祭「OPEN ART」（スウェーデン・オレブロ市）から始まった「スマイルの旅プロジェクト」を《スマイル茶室》内で人々が茶の湯を楽しみそこで得たスマイルを持ち帰ることを「モバイルスマイル茶会」として国内外で継続して行なっている。2025年「第3回福岡アートアワード」で優秀賞を受賞。

「スマイル茶室」の中で「お茶会ワークショップ」開催！

2 北村あさみ

福岡市在住。スクラッチアート画家／アートスイーツクリエイター。黒一面の世界から、静かに浮かび上がる光と線。スクラッチアートという独自の技法を通して、日常の奥にある“見えないけれど大切なもの”を描き出す表現者。繊細な手仕事と感性で生まれる作品たちは、どこか懐かしく、心の深い場所をやさしく照らします。2015年より作品発表を開始、個展・マルシェ・ギャラリー出展多数。アートとスイーツを融合させた「食べられる物語」も好評。

スクラッチアートでしおりを作ろう！



◀ワークショップの詳細・参加申込はこちら
（※要事前申込・応募者多数の場合は抽選）



北村あさみ／燈・林檎 蘭のイメージ・idea・遊び心

More Information

出展者情報など、くわしくはコチラ



FaN
Fukuoka Art Next



Minamiku Art Next
Collection
2026

FaN
Fukuoka Art Next

スペシャルトークイベント
Special Talk Event

「アートによる地域づくり」

オーギカナエ × 牛嶋均 × 原蜜

2026.10.3^{Sat}
17:00-19:00

福岡市南区では、これからの時代を担う学生・若手アーティストのアート活動を支援する「Minamiku Art Next」を展開しています。本トークイベントは、同日に福岡市立南市民センターで開催している展覧会「Minamiku Art Next Collection 2026」の特別プログラムとして実施するものです。

Minamiku Art Next Collection 2026のゲストアーティストであるオーギカナエさん、FaNWeek 期間中に ONE FUKUOKA BLDG. で作品を発表される牛嶋均さん、公共空間におけるアートプロジェクトや瀬戸内国際芸術祭・越後妻有大地の芸術祭など地域芸術祭のプロデュースに携わってきた(株)アートフロントギャラリーから代表取締役社長・原蜜さんをお迎えし、「アートによる地域づくり」をテーマとしたトークイベントを開催します。福岡ではなかなか聞くことのできない貴重なトークをぜひ会場でお楽しみください。

会場 九州大学大橋キャンパス
デザインコモン
(福岡市南区塩原4-9-1)

定員 50名

料金 無料(要事前申込)

参加申込はこちら▶
(※応募者多数の場合は抽選)



アーティスト



Ohgi Kanae
オーギカナエ

1963年、唐津市生まれ。1984年武蔵野美術大学短期学部美術科油絵専攻卒業後「絵は空気を作るもの」という考えから空間をドローイングで覆う大型インスタレーションの作品など東京を中心にインド、シンガポールでも発表。1994年拠点を久留米市に移し、リサーチプロジェクト、ワークショップやパブリックアート、舞台美術など、よりインタラクティブな作品を発表する。

2017年の国際芸術祭「OPEN ART」(スウェーデン・オレブロ市)から始まった「スマイルの旅プロジェクト」を《スマイル茶室》内で人々が茶の湯を楽しみそこで得たスマイルを持ち帰ることを「モバイルスマイル茶会」として国内外で継続して行なっている。2025年「第1回松山湖ビエンナーレ」(中国・東莞市)では最新の《スマイル茶室》を発表。2025年「第3回福岡アートアワード」で優秀賞を受賞。

アーティスト



Ushijima Hitoshi
牛嶋均

1963年、福岡県生まれ。現在も福岡を拠点に国内外で広く活躍する美術家、彫刻家、パフォーマーである。1983年に九州造形短期大学グラフィックデザイン科を卒業後、田中泯に師事。パフォーマーとして海外を舞台に精力的な活動を展開した。帰国後は家業の遊具製作を手伝う傍ら、遊具の要素を取り入れた、触れて遊べる体験型の彫刻作品を手がけるようになる。また、全国各地で子どもたちと「基地」を作るワークショップを行うなど、社会や地域と深く関わるアート活動を続けている。

個展やグループ展のほか、国際的な芸術祭にも数多く参加。主な実績に、「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」(2002年)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2003年)、「金沢アートプラットフォーム2008」(2008年)、「奥能登国際芸術祭2023」(2023年)、「第1回松山湖ビエンナーレ2025」(中国・東莞市)などがある。

アートディレクター



Hara Mitsu
原蜜

(株)アートフロントギャラリー代表取締役社長(渋谷区猿楽町)。「大地の芸術祭」の企画・運営を行うNPO法人越後妻有里山協働機構(新潟県十日町市)の事務局長も兼任。様々なアートプロジェクトの企画・コーディネートを行うアートフロントギャラリーにおいて、会長の北川フラムがディレクターを務める「越後妻有 大地の芸術祭」「房総国際芸術祭 アート×ミックス」「瀬戸内国際芸術祭」「下呂 Art Discovery」など、各地の芸術祭の企画・運営に携わる。特に「大地の芸術祭」「房総国際芸術祭」では、芸術祭全体の企画立案から事業予算の策定・資金調整、各種関係機関・地域との調整、広報、ツアー、グッズ、食・宿泊、ボランティア、農業、会場運営に至るまで、事業全体を統括する。また、会期中のみならず会期外においても、企業や地域との連携を推進し、都市と地域の交流・交換を軸とした事業の継続と発展に向けた経営戦略を担う。芸術祭やNPOの持続的な運営を通じて、地域における雇用の創出・拡大にも取り組んでいる。

More Information

Minamiku Art Next についてはコチラ

note



Instagram



HP



協力

(株)アートフロントギャラリー

主催

南区役所総務部企画振興課 (☎092-559-5017)





Minamiku Art Next
Collection 2026

スペシャルトークイベント

Special 2026.10.3^{SAT} Talk Event

「アートによる地域づくり」

アーティスト

オーギカナエ



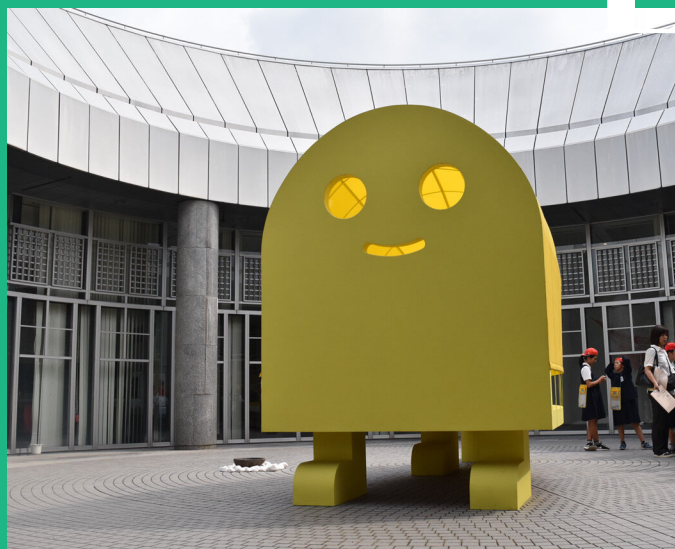
牛嶋均



原蜜

アートディレクター

(株)アートフロントギャラリー 代表取締役社長
NPO法人 越後妻有里山協働機構 事務局長



オーギカナエ《スマイルの旅プロジェクト》 写真提供：広島市現代美術館



牛嶋均《荔枝屋頂-共栖之樹》



越後妻有 大地の芸術祭



マ・ヤンソン／MADアーキテツ《Tunnel of Light》Photo by Nakamura Osamu 写真提供：大地の芸術祭実行委員会

会場：九州大学大橋キャンパス デザインコモン

参加無料・要事前申込